

# 北海道身体障害者新聞

発行人 (社団)北海道身体障害者福祉協会 会長 赤坂勝  
札幌市中央区北2条西7丁目(かてる2-7)  
電話 011-251-1551  
ホームページ www.hokushinkyō.or.jp  
北海道障害者社会参加推進センター  
電話 011-251-9302  
毎月 25日発行  
会員購読料(年) 360円  
非会員 同 2,000円

## 明けましておめでとうございます



社団法人 北海道身体障害者福祉協会 会長 赤坂 勝

皆様には、ご健健で健やかに新たな年をお迎えになられた事と存じ、心からお慶び申し上げます。そして本年も宜しく御願ひ申しあげます。

さて、今年には障害者支援法が本格的に施行されて三年が経過し見直しの年です。日本のいたるところで障害者の悲鳴が上がり、障害者の切なる願いで国は、異例とも言うべき中途で臨時の措置を講ずるなど、欠陥法といわざるを得ないこの法律に、常に声を上げねば、そして行動をしなければと考えております。

昨年の北斗市におきまして開催された第五十七回全道身体障害者福祉大会(大変北斗市の皆様にはお世話になりました)で、北海道全域からご参加いただいた七百七人の障害当事者との様々な議論の中から、広域北海道においては臨時措置が講じられたといっても、地域格差を始めたとして多くの問題点や矛盾点が昨年同様明らかになりました。

このことは、決して看過することが出来ないことであり北身協としても、北海道を始め、上部団体である日身連を通して国に、また関係筋に対してアピールをしていくところであります。

私はいつも申し上げておりますが、私たちは障害者になりましたが、私たちが普通の人間として生活したい、社会参加した

と私たちは位置付けしました。以来八年が経過、障害のある無にかかわらず、国民が等しく相互に個性を尊重しあう共生社会の構築に、最大のエネルギーを傾注してきたところですが、まだまだその目標に程遠く思われます。

そのためには、加盟団体の皆さんと幅広く意見交換をさせていただきながら、目的に向かっていきたいと思っております。しかしながら、これからの北身協は、北海道の財政が一段と厳しさが増す中で、ご他聞に漏れず運営にも大きな影響を受けて、その存在すら危ぶまれると苦慮しているところでもあります。とはいっても私たちの運動展開は止めるわけには行きません、役員も最大限の知恵を絞り障害者の権利獲得のために努力を傾けてまいりたいと存じます。

加盟団体の皆様の更なる絶大なご支援、ご協力を切に御願ひしなければと考えており、共々に目標に向かって着実に進んで行きたいと考えております。年の初めから暗い話に終始しましたが、希望は失わず、今年「丑年」牛歩の歩みではあります。着実な一歩を記すことが基本的な大切なことと存じます。さて、今年全道大会は夕張市にて開催することとしております。今までのように開催地の行政に頼る大会ではなく、北身協自らが運営等に主体的にかかわり、大会のあり方等についても十分検討せねばと考えておりますので、会員皆様には一人でも多くの方々が参加され、大きな議論で盛り上げていただけたらと考えています。どうか、宜しく御願ひ申し上げます。

年の初めにあたり、この一年が会員皆様にとつて素晴らしい年であります事を祈念すると共に、それぞれの地域で障害者福祉の向上のために活躍される事を期待し年頭のご挨拶いたします。

「1」協力を「町内会の回覧協力による日身連収益事業は、あなたの協会に還付されております。」

謹んで新年のお慶びを申し上げます  
平成二十一年元旦

- 社団法人北海道身体障害者福祉協会
- |      |       |        |       |
|------|-------|--------|-------|
| 会長   | 赤坂 勝  | 加盟団体代表 |       |
| 副会長  | 政田 一美 | 石狩支庁   | 三野宮一芳 |
| 副会長  | 荒川 繁雄 | 渡島支庁   | 澤出 博  |
| 常務理事 | 和田 真一 | 樺山支庁   | 澤谷 昭市 |
| 理事   | 篠山 准子 | 後志支庁   | 最上 輝昭 |
| 理事   | 岩波 勝二 | 空知支庁   | 高瀬 定和 |
| 理事   | 瀧山 征治 | 上川支庁   | 小林 忠義 |
| 理事   | 中野 幸一 | 留萌支庁   | 福井 紀道 |
| 理事   | 佐藤芳太郎 | 宗谷支庁   | 篠山 准子 |
| 理事   | 山本 克光 | 網走支庁   | 加藤 四郎 |
| 理事   | 中西 昭夫 | 胆振支庁   | 加藤 四郎 |
| 理事   | 佐久 信二 | 日高支庁   | 堂前 文男 |
| 理事   | 大矢 郁子 | 十勝支庁   | 蛸子 哲  |
| 監事   | 大矢 郁子 | 釧路支庁   | 大橋 貞一 |
| 監事   | 大矢 郁子 | 根室支庁   | 佐藤 齊  |

### 第五十八回全道身体障害者福祉大会 十月二十五日(日)夕張市にて

全道身体障害者福祉大会推進委員会(委員長 赤坂勝北身協会長)が昨年十二月四日(木)午後一時三十分から札幌市内の道民活動センターで開かれ、第五十八回全道身体障害者福祉大会夕張大会の日程等を決めた。

開催日は、十月二十五日(日)の一日日程で、午前九時三十分頃から午後二時三十分頃までを予定している。会場は夕張市の「ゆらばり文化スポーツセンター」。

内容は式典、講演、全体協議等を予定しているが一部流動的な面もあり、詳細は今後詰めることになった。

またこれに先立ち、第五十七回全道身体障害者福祉大会北斗大会の総括が行われた。参加者は六六三人で昨年より百名近く減少したが、原因のひとつとして、各市町村の財政難により福祉バス等が使えなかったこと等の意見が出された。また反省点として、二日目の全体会議が予定より大幅に早く終了し時間的なロスが生じたことや、講演のあり方についても意見が出され、今後の課題として検討を進

- |      |        |               |       |
|------|--------|---------------|-------|
| 函館市  | 岩波 勝二  | 根室市           | 淀川 スキ |
| 小樽市  | 赤坂 繁雄  | 千歳市           | 神田 孝  |
| 旭川市  | 荒川 繁雄  | 滝川市           | 鈴木 利彦 |
| 室蘭市  | 政田 一美  | 砂川市           | 工藤 公人 |
| 釧路市  | 瀧山 征治  | 歌志内市          | 太田フサ子 |
| 帯広市  | 阿部 利雄  | 深川市           | 秋山 和正 |
| 北見市  | 佐藤芳太郎  | 富良野市          | 井上 昭吾 |
| 夕張市  | 小林 孝雄  | 登別市           | 熊谷 昭均 |
| 岩見沢市 | 三宅 陸男  | 恵庭市           | 鹿野 均  |
| 網走市  | 加々見 健男 | 伊達市           | 石川 鐵雄 |
| 留萌市  | 清水 覚   | 北広島市          | 太田 鐵雄 |
| 苫小牧市 | 西田 清吾  | 石狩市           | 古泉 利雄 |
| 稚内市  | 井澤 勝義  | 北斗市           | 関口 岩男 |
| 美幌市  | 大矢 郁子  | 北海道視覚障害者福祉連合会 | 山本 克光 |
| 芦別市  | 武田 貞信  | 北鈴会(函館橋田福祉団体) | 山本 克光 |
| 江別市  | 八木橋 秀幸 | 北海道中途失聴者協会    | 松永 雅晴 |
| 赤平市  | 若山 武信  |               | 中西 昭夫 |
| 紋別市  | 齊藤 真規雄 |               |       |
| 士別市  | 寺下 巨   |               |       |
| 名寄市  | 木村喜代志  |               |       |
| 三笠市  | 奥村 一   |               |       |



次全道大会で審議・採択された九件の要望事項について協議が行われ、保留の一件を除く八件の案件について、国や道等の関係機関に要望書を提出することになった。

●ガイドヘルパーを介してあります。  
道内の他の市町村や道外の都府県にお出掛けの時にご利用ください。  
電話 011-251-1644 まで  
FAX 011-251-1844

●困りごと、悩みごと、相談ごと...  
一人で悩まず  
「障害者110番」にお電話ください。  
内容によっては、弁護士によるご相談も無料でお受けしています。  
※秘密は固く守られます。お気軽にご相談ください。  
電話 011-252-1233 まで  
FAX・留守電 011-252-1235

## 社団法人日本義肢協会会員

- |   |   |   |   |  |   |  |  |  |
|---|---|---|---|--|---|--|--|--|
| 株式会社<br>札幌義肢製作所<br>代表取締役 関 守<br>札幌市中央区南三条西六丁目<br>電話代表(011)241-0986<br>電話(011)241-0986 | 株式会社<br>野坂義肢製作所<br>支店長 舛田裕司<br>札幌市中央区南三条東四丁目<br>電話(011)221-1406 | 株式会社<br>河笠義肢製作所<br>小樽市長橋四丁目七番二十九号<br>電話(011)421-1304<br>電話(011)421-1304 | 株式会社<br>馬場義肢製作所<br>函館市豊川町一五の二<br>電話(011)381-2656<br>札幌市北七条二丁目<br>電話(011)741-0303<br>室蘭市母恋北町一三の六<br>電話(011)431-5599<br>釧路市富士見一五の九<br>電話(011)541-1354 | 株式会社<br>田村義肢製作所<br>札幌市中央区北四条東五丁目<br>電話(011)421-2777<br>帯広支店<br>帯広市大通南十五丁目二十番地<br>電話(011)551-2489 | 株式会社<br>三愛義肢製作所<br>岩見沢市志文町九二三番地二六<br>電話(011)261-2164<br>帯広営業所<br>帯広市大川町三〇番地一<br>電話(011)551-2417 | 株式会社<br>協和義肢製作所<br>岩見沢市三条西八丁目<br>電話(011)261-3399<br>旭川市十条通り九丁目<br>電話(011)621-0349<br>転送電話三二一八六五番 | 株式会社<br>美唄義肢製作所<br>代表取締役 松田清勝<br>美唄市東七条北四丁目七番九号<br>電話(011)261-0931 | 株式会社<br>千葉義肢製作所<br>釧路市若草町七番二一<br>電話(011)541-2103<br>FAX(011)541-2103 |
|---|---|---|---|--|---|--|--|--|

全国及び北海道の障害者雇用状況 (平成20年11月20日発表)

「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき事業主等からの報告を集計した今年度の「障害者の雇用状況」が北海道労働局から発表されました。概要は次のとおり。

- 道内の一般民間企業の実雇用率は全国平均を上回る1.74%で過去最高
- 雇用されている障害者の数は7,945.5人で過去最高
- 公的機関のうち2.1%適用機関の法定雇用率達成割合は全国平均を大きく上回る96.1%だが、2.0%適用機関は66.7%に過ぎず改善を要する状況

〔全国及び北海道の障害者の雇用状況〕

(平成20年6月1日現在)

	企業等区分(企業等の数)	労働者数 職員数(人)	障害者の数 (人)	実雇用 率(%)	達成割合 不足数(△)
一般の民間企業 〔対象労働者数56 人以上〕	全国(73,042企業)	20,499,012	325,603	1.59	44.9%
	身体障害者		266,043		
	知的障害者		53,563		
法定雇用率1.8%	北海道(2,541企業)	455,886	7,945.5	1.74	49.5%
	身体障害者		6,226		
	知的障害者		1,623		
公的機関	国の機関	299,851	6,548	2.18	0人
	(全国)都道府県の機関	326,448	7,968.5	2.44	△ 11人
	(全国)市町村の機関	962,319	22,397	2.33	
	全国計(2,710機関)	1,588,618	36,913.5	2.32	84.8%
	身体障害者		36,085		
	知的障害者		445		
〔国、地方公共団 体で対象職員数 48人以上〕	北海道庁の機関	16,813	415	2.47	0人
	北海道警察	1,329	29	2.18	0人
	市町村の機関	46,745	1,124	2.40	△ 9人
	北海道計(203機関)	64,887	1,568	2.42	96.1%
	身体障害者		1,546		
	知的障害者		13		
公的機関	(全国)都道府県教育委員会	553,373	8,767	1.58	△ 2,357人
	(全国)市町村教育委員会	92,560	1,692	1.83	
	全国計(141機関)	645,933	10,459	1.62	55.3%
	身体障害者		10,377		
	知的障害者		36		
	精神障害者		46		
〔都道府県等の教 育委員会で対象 職員数50人以上〕	北海道教育委員会	28,798	463	1.61	△ 112人
	市町村教育委員会	7,759	122	1.57	△ 38人
	北海道計(9機関)	36,557	585	1.60	66.7%
	身体障害者		582		
知的障害者		1			
精神障害者		2			

〔障害者のカウント方法〕

- ・重度の身体障害者及び知的障害者については、1人の雇用を2人としてカウントする。
- ・1週間の所定労働時間が20時間以上30時間未満の短時間労働者については、重度の身体障害者及び知的障害者については1人としてカウント。また精神障害者については0.5人としてカウントする。

町村協会だより ④3 (日高支庁管内日高町) 合併により一層の交流活動を推進

第四十三回目として紹介し、す協会は、日高支庁管内の西部に位置し、重要文化財のアンモナイト化石や地方競馬最大規模を誇る門別競馬場で有名な町の日高町身体障害者福祉協会(中川美和会長)です。

同協会は、平成十八年四月一日に旧日高町と旧門別町との合併により、新たに設立されました。合併前の事務局は、役員も自宅に置かれていたが、合併に伴い社会福祉協議会が担っています。また、日高町は飛び地合併のため、役場間の距離が六十五キロもあるのです。

活動を尊重して支部制も設けており、役員及び執行体制は、中川会長をトップに副会長二名、理事五名、監事二名の計十名で構成されています。

数日は日高支部、門別支部とも三十七名の計七十四名おられます。



日高支庁管内身体障害者福祉協会 創立50周年記念被表彰者

主な年間行事及び活動内容

- 理事会、総会
- 交流会(各支部)
- 秋季親睦会・新年会(日高支部)
- 視察研修旅行(二泊二日、合同)
- 管内身障協会研修旅行参加
- 管内身障大会参加(スポーツ大会・ゲートボール大会・パークゴルフ大会)
- 三町村身障協会交流会
- 全道身障者に出場
- スポーツ大会出場
- 冬季スポーツ大会出場
- 全国身障者



視察研修旅行(えにわ湖畔)

スポーツ大会出場

同協会は、全道障害者スポーツ大会に積極的に参加しており、毎回金・銀・銅のメダルを獲得し、全国大会にも多く出場しています。また、管内の大会には種目により支部ごと又は合同で参加しており、和気藹々の中楽しく交流を深めています。

現在、門別地区での人口が少なく、会員加入の促進が大きな課題となっております。



三町村身体障害者福祉協会交流会(日高町にて)

銅賞

● 北見市 佐東 敦子

『初夏を楽しむ』



銅賞

● 猿払村 庄司 渉

『幻想的な光と影』



写真の部

● 銀賞

● 千歳市 穴生 勇

『書道の部』

岩見沢市緑が丘二丁目八六番地八

電話代表(011)261-1550

岩見沢市緑が丘二丁目八六番地八

電話代表(011)261-1550

第二十三回障害者による書道・写真全国コンテスト 審査結果発表

全国身体障害者総合福祉センター(戸山サンライズ)主催のこのコンテストには、全国から千八十一名の応募があり、入賞作品九十三点のうち北海道からは三点が入賞しました。

入賞作品は次のとおり。

銅賞 ● 千歳市 穴生 勇

銀賞 ● 猿払村 庄司 渉

写真の部 ● 千歳市 穴生 勇

『書道の部』 ● 千歳市 穴生 勇

銅賞 ● 北見市 佐東 敦子

『初夏を楽しむ』

銅賞 ● 猿払村 庄司 渉

『幻想的な光と影』

写真の部 ● 千歳市 穴生 勇

銀賞 ● 猿払村 庄司 渉

『幻想的な光と影』

ニッシン自動車工業

北海道支店

身体障害者用・自動車運転装置・販売・取付

印刷・クリーニング・縫製のご用命は

社会福祉法人 北海道リハビリ

身体障害者授産施設 リハビリ・エイト

身体障害者授産施設 リハビリ・クリーナース

障害福祉サービス事業所 リハビリ・おおぞら

障害福祉サービス事業所 セルブさっぽろ

身体障害者授産施設 札幌ワークセンター

地域活動支援センター ポブルス

施設利用ご希望の方はお気軽にご相談ください

法人事務所 北広島市西の里507番地1

TEL(011)375-2111(代) FAX(011)375-4051

安心と実績で全道をネットする 認定補聴器専門店

岩崎電子 補聴器センター

本店 札幌市中央区南2条西3丁目 東南カド

札幌駅前 札幌市中央区北3条西2丁目 札幌H・S・ビル1F

新札幌店 札幌市厚別区厚別中央1条6丁目 ホクノービル3F

手稲店 札幌市手稲区前田1条12丁目

旭川店 旭川市宮下通9丁目 キタノビル1F

函館店 函館市杉並町8-20 オカダビル

苫小牧店 苫小牧市表町5丁目5-1

室蘭店 室蘭市中央町3丁目25-1 TMビル

お問い合わせ 0120-231-282

本社 岩崎電子株式会社

札幌市中央区南2条西3丁目 東南カド